

ツルギ250粒剤

[イプフェンカルバゾン・イマゾスルフロン・ベンゾピシクロン粒剤]

農林水産省登録 第24188号

有効成分 イプフェンカルバゾン…
10.0%、イマゾスルフロン…
3.6%、ベンゾピシクロン…8.0%

性 状 類白色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：3年 包装：250g×20
RACコード：除草[15][2][27]

特長

- ノビエに高い効果と優れた効果持続性を発揮する有効成分「イプフェンカルバゾン」を配合した初中期一発処理除草剤です。
- 有効成分「ベンゾピシクロン」がホタルイなどのSU抵抗性雑草に、「イマゾスルフロン」がクログワイやオモダカなどの多年生雑草に高い効果を発揮します。
- 拡散性が高く、10aあたり250gの散布で優れた除草効果を発揮します。ドローン散布や田植同時処理にも対応しており、従来の1キロ粒剤に比べて一度に広い面積分搭載できるので効率的です。水口施用や周縁散布も可能で、幅広い散布方法に対応します。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。ホタルイ、ウリカワは2葉期まで、ヘラオモダカは4葉期まで、オモダカ、クログワイは発生前から発生始期まで、ミズガヤツリは草丈10cm以下まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期である。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生の期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保つ。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないように注意する。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意する。
- 本剤を移植時に散布する場合には、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、所定量を均一に散布できる田植同時散布機を使用する。
- 藻や浮草が多発している水田では拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用をさける。
- 強風時の散布はさける。
- 下記のような条件では、初期生育抑制を生じるおそれがあるので、使用をさける。特に、これらの条件が重なる場合は、初期生育が著しく抑制されるので注意する。

- 1) 散布後低温が続くと予想される時
 - 2) 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 3) 活着遅延を生じるような異常低温の時
 - 4) 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - 5) 軟弱な苗を移植した水田
 - 6) 極端な浅植の水田
 - 7) 植え穴のもどりが悪い水田
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 直播水稻に使用する場合は除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布する。
 - 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさける。
 - 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
 - 本剤を無人航空機で散布する場合は次の注意を守る。
 - 1) 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 2) 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 3) 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 4) 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離してほ場内に散布する。
 - 5) 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
 - 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
 - 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理する。
 - いぐさ栽培予定水田では使用しない。
 - 散布田の水田水を他の作物に灌水しない。
 - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用する。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布 湛水周縁散布 水口施用 又は 無人航空機による散布	2回以内	2回以内	3回以内
		移植時			田植同時散布機で施用			
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布 湛水周縁散布 又は 無人航空機による散布			

製品写真



最新の登録内容はこちら

